

取組事例 新幹線開業を契機とした近隣自治体との広域連携による 交流人口の拡大

(木古内町)

木古内町では、北海道新幹線木古内駅を核とした近隣自治体との広域観光ルート形成や特産品等の情報を全国に発信し、交流人口を拡大することで渡島西部・檜山南部9町の活性化を図ることとしている。

関連数値目標・KPI ※代表的なものを記載

| | 基準値 (H26) | 実績 (H27) | 目標値 (H31) | 進捗率 (%) |
|---------------|--------------|-------------|--------------|------------|
| 観光入込 客数(人) | 61,700 | 150,000 | 200,000 | 75.0% |

取組の推進体制

○新幹線木古内駅活用推進協議会 (H22年5月20日設置)

- ・渡島西部4町：木古内町(事務局)、知内町、福島町、松前町
- ・檜山南部5町：上ノ国町、江差町、乙部町、厚沢部町、奥尻町
- ・交通事業者：函館バス、ハートランドフェリー、JR北海道



取組事例① イメージづくり

○広域観光キャッチコピーの制定

しゅん かん

旬感・千年北海道

～青函トンネルを抜けて広がる、北の9都な物語～



取組事例② 人づくり

○広域観光コンシェルジュの育成

- ・総務省の「地域おこし協力隊」制度を活用し、都市部から意欲ある若者を招聘
- ・新幹線地域活性特命チーム「はやぶさ03」の愛称でデビューし、3年間活動 (H24～H26)
- ・H27年4月～9月は「観光交流センター開業準備チーム」の一員として活動
- ・H27年10月から道の駅「みそぎの郷 きこない」に常駐し、「9町のことなら何でも知っている」コンシェルジュとして活躍



取組事例③ 拠点づくり

○広域観光拠点施設の整備

- ・道の駅「みそぎの郷 きこない」
- ・敷地面積：2,128㎡
- ・延床面積：843㎡
- ・指定管理者
(一社)木古内公益振興社
- ・利用者数実績
100,000人達成 (H28.4.17)
200,000人達成 (H28.5.18)
300,000人達成 (H28.7.17)
400,000人達成 (H28.8.31)
500,000人達成 (H28.11.5)
600,000人達成 (H29.3.20)



取組事例④ ネットワークづくり

○二次交通と一体となった観光地づくり

- ・江差・松前周遊フリーパス～千年北海道手形～

○地域連携国際観光周遊ルート創出事業

- ・外国人観光客向け滞在型観光メニューの開発
- ・台湾の観光情報誌への広告記事の掲載 など

